

④ 水害・土砂災害対策等の当面の進め方

- ・人口集中地区である沖縄本島中南部圏域においては、生命・財産を守るための水害・土砂災害対策を重点的に実施するとともに地域住民に親しまれ利用される川づくりを引き続き進めます。
- ・市街地を流れる国場川、安里川、安謝川、比謝川において河川が氾濫した場合、被害が甚大となるため、重点的に予算を投入し、浸水被害の解消に努めているところです。
また、都市に潤いのある水辺空間を創出するために、環境や景観にも配慮した多自然川づくりを引き続き進めます。
- ・浚渫が必要な河川については、緊急浚渫推進事業債等を活用し、浸水被害の軽減に向け、適切な維持管理に努めます。
- ・中頭東部地すべりは、現在、熱田（４・５・６）地区、当間地区、当間（２・３・４）地区、泊地区、奥間地区、奥間（３）地区、久場（１・２）地区で事業を実施中であります。
- ・中頭東部地すべりは広域な範囲に地すべり危険個所が分布していることから、地すべりの前兆を把握し被害の軽減に繋げていくため、地盤伸縮や傾斜計等の観測を引き続き実施します。
- ・その他、南風原町新川地区の地すべり対策及び南風原町兼城地区、南城市小谷地区、中城村安里地区の緊急改築を実施します。
- ・急傾斜地崩壊対策については、浦添市港川（２）地区、浦添市沢岬（３）地区、那覇市天久（３）地区、豊見城市真玉橋地区、渡嘉敷村渡嘉敷地区、豊見城市上田（２）地区を、緊急改築については、西原町幸地地区、豊見城市金良地区、糸満市武富地区、読谷村楚辺地区、中城村津覇地区、豊見城市上田（１）地区を実施します。

ソフト対策

- ・中南部圏域には、人口および住宅等の資産が集中しており、河川の氾濫やがけ崩れ等が起こると多大な被害が生じる可能性があります。そこで、想定最大規模の降雨による「洪水浸水想定区域図」を作成し、浸水被害がどの範囲まで広がるか情報提供しているところでもあります。
- ・市町村が洪水時の円滑かつ迅速な避難を行うため作成する「水害ハザードマップ」の基礎情報として、「洪水浸水想定区域図」を情報提供していきます。

- ・迅速な水防活動の支援を目的に観測・収集した河川水位や流域雨量情報をインターネットで閲覧可能にすると共に、主要河川については、平成 23 年 4 月からライブ画像（静止画）で確認できるようにしました。
- ・県と沖縄総合事務局は、NHKとの協働により、平成 23 年 6 月から NHK の「データ放送」を通じて主な河川の水位や雨量の状況をリアルタイムで確認できるよう情報提供を行っています。
- ・河川水位等のデータ取得を 10 分間隔から 1 分間隔とすることや、伝送路の二重化による欠測の低減等、河川情報システムの機能強化を引き続き実施します。
- ・河川情報システムの機能強化として、平成 30 年 4 月から、流域住民が登録したメールアドレスに自動的に河川水位の到達を配信する機能を追加しました。
- ・土砂災害からの警戒避難のため及び「土砂災害特別警戒区域」の指定を進めるとともに、2 巡目基礎調査を実施しています。
【令和 7 年 9 月末時点】
土砂災害警戒区域：632 区域指定済み
土砂災害特別警戒区域：494 区域指定済み

中南部圏域の河川整備の事例

国場川 (南風原町宮平付近)

改修前



改修後



安謝川 (那覇市首里末吉町付近)

改修前



改修後



饒波川 (豊見城市饒波付近)

改修前



改修後



比謝川
(沖縄市「水辺プラザ」付近)

改修前



改修後



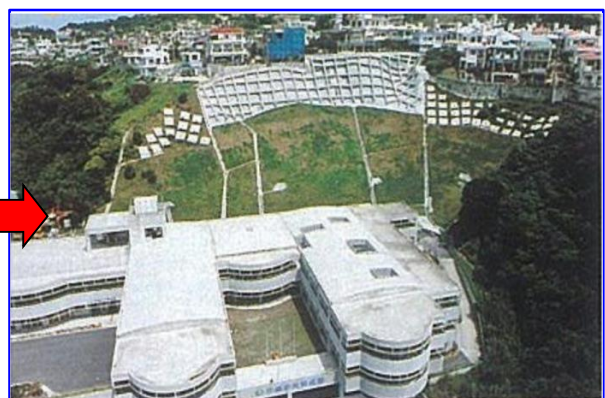
中南部圏域の砂防関係事業の事例

兼城地区
(南風原町「沖縄中央育成園」付近)

被災時



完成



安里地区
(中城村安里付近)

被災時



完成



熱田地区
(北中城村熱田付近)

対策前



対策後



島袋地区
(北中城村島袋付近)

対策前



対策後



⑤ 主要事業

圏域内の主要事業について示します。

- ・ 国場川河川改修事業
- ・ 安里川河川改修事業
- ・ 安謝川河川改修事業
- ・ 新川地区 地すべり対策事業
- ・ 当間地区 地すべり対策事業
- ・ 小谷地区 地すべり防止施設砂防メンテナンス事業
- ・ 沢岨（３）地区急傾斜地崩壊対策事業

計画名：県民が安全・安心に暮らせる総合的な浸水対策の推進（防災・安全）

はえばる
沖縄県那覇市・南風原町

2級河川国場川水系国場川は、流域面積 43km²、流路延長11.25kmの沖縄県では比較的大きな都市河川であり、昭和47年度から河川改修事業を進め、令和3年度までに河口から^{ひらばる}平原橋下流までの約 7.3 kmの区間が概成している。しかしながら、未整備区間においては、河川断面が狭小なため、浸水被害が発生しており、平成11年9月の台風18号においては、浸水戸数163戸、道路冠水などの被害が報告されている。

このことから、未整備区間となる平原橋から上流に向けて広域河川改修事業を実施し、重点的に河川改修を行うことにより、計画規模の出水に対して浸水被害の解消を図る。

また、上流部の河川改修と併せ、護岸整備を先行した河口から真玉橋ま^{まだん}での間の河床掘削を実施する。

事業期間 昭和47年度～令和13年度

全体事業費 39,300百万円

進捗率（令和6年度末、事業費ベース）93.9%

令和6年度当初

事業費 180.0百万円

令和6年度補正

事業費 250.0百万円

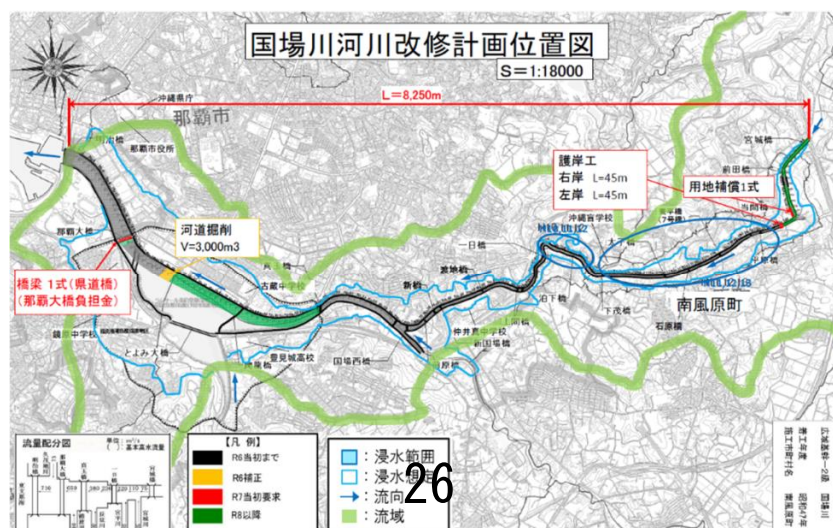
令和7年度当初

事業費 153.0百万円



3. 令和7年度の事業概要

河道掘削 一式

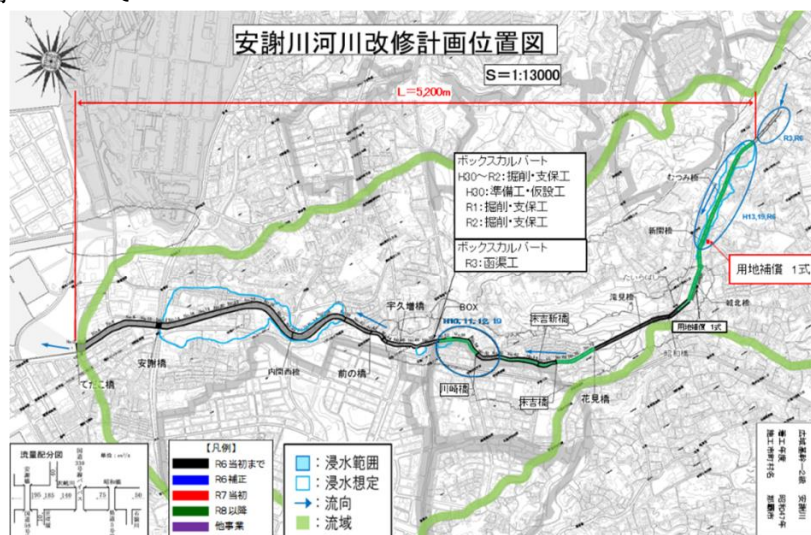


沖繩県那覇市

安謝川は、流域面積8.1 k m²、流路延長5.7 k mの2級河川である。改修計画延長5.0 k mのうち平成25年度までに河口から国道330号までの約2.4 k mを概成している。これまでの整備で下流部における浸水被害は軽減されたが、安謝川が流入する既設の国道330号横断ボックスは、その流下能力が計画規模流量に対して50%程度の能力であるため、既設ボックスの上流側では浸水被害が頻発している。

このため、今年度も引き続き国道330号ボックスカルバート工事を進めるとともに、上流に向けた河道改修を推進し、沿川の資産価値が高い安謝川流域における近年の集中豪雨による浸水被害の軽減を図る。また、地元からの要望が強い上流部延伸区間については、引き続き用地取得に取り組む。

事業期間	昭和47年度～令和23年度
全体事業費	20,153百万円
進捗率（令和6年度末、事業費ベース）	75.6%
令和6年度当初	
事業費	100.0百万円
令和7年度当初	
事業費	225.7百万円



あらかわ

しまじりぐん はえばるちょう

新川地区地すべり対策事業(沖縄県 島尻郡 南風原町)

○事業目的

当該地区は、南風原町新川に位置する斜面で、地すべり活動による変状が確認され、強度低下が進行中であると懸念される。本地すべり斜面の下方には多数の人家が密集し、重要な幹線道路となる国道329号バイパス(緊急輸送道路)及び要配慮者利用施設が存在していることから、当該斜面の地すべりを防止することにより、住民の生命、財産を保全するとともに、道路機能の維持を図る必要がある。

○箇所概要

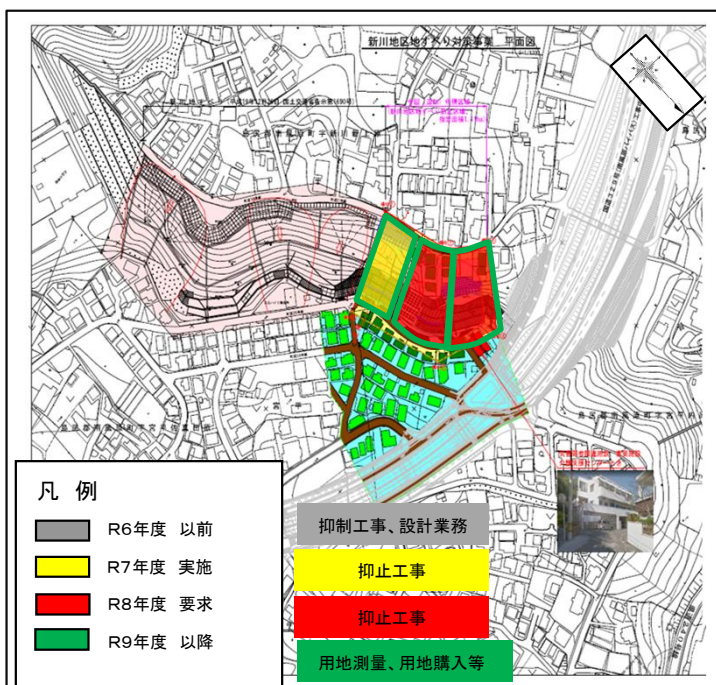
保全対象: 国道329号、保全人家数 50戸、要配慮者利用施設1箇所

実施内容: 抑止工、抑制工等

R8年度要望額: 176百万円(国費: 105.6百万円)

R8年度実施内容: 抑止工、現場技術業務、磁気探査、工事調整会議、工損調査

全体事業費: 610百万円(R2～R11) R6年度末進捗率 33%



町道21号線(上部道路)
路面亀裂の補修跡



斜面部
天端Coの破損状況

とうま なかがみぐん なかぐすくそん
当間地区地すべり対策事業(沖縄県 中頭郡 中城村)

○事業目的

当間地区は中城村当間に位置する地すべり地で、斜面下方には人家80戸、国道329号(緊急輸送道路)、中学校、村役場等の保全対象を抱えている。このため、地すべり活動が活発化した場合には、甚大な被害をもたらすおそれがあるため、早期に地すべり防止施設の整備を行い、周辺地域の安全を確保する。

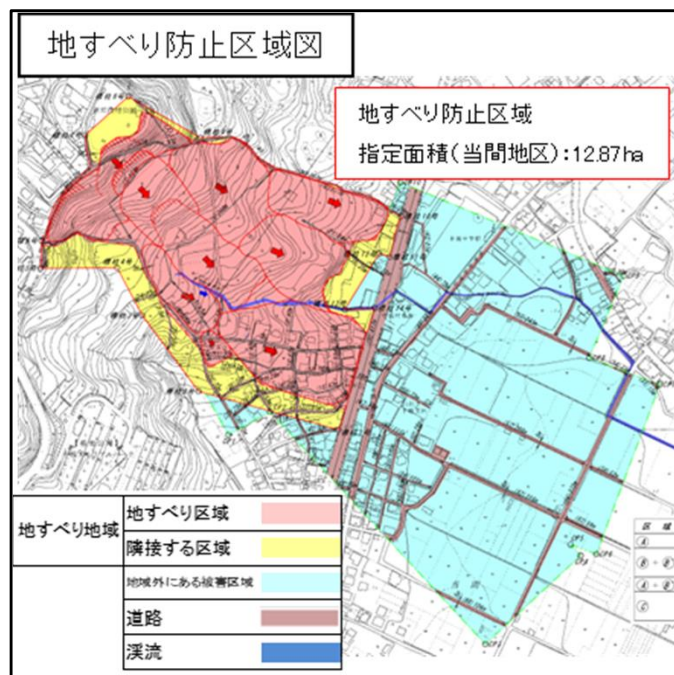
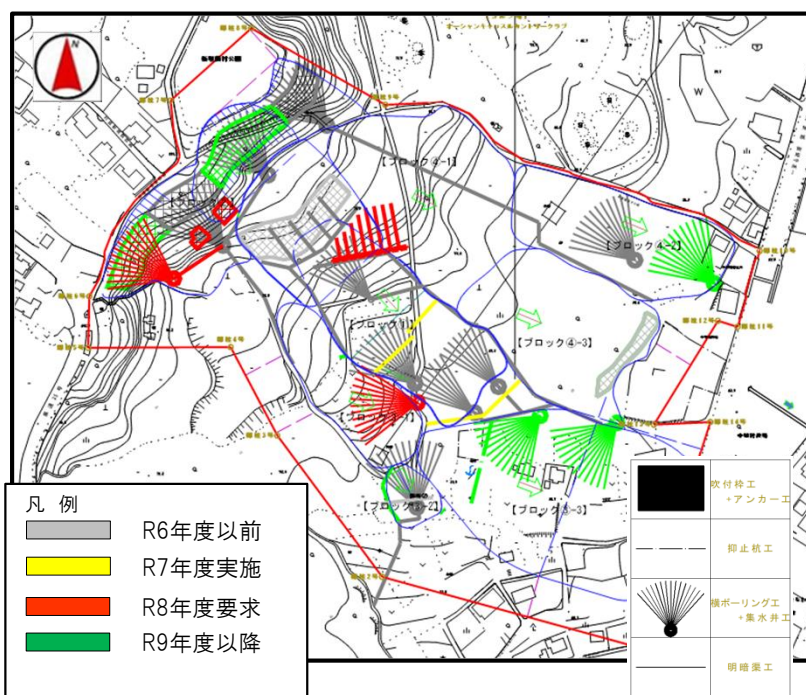
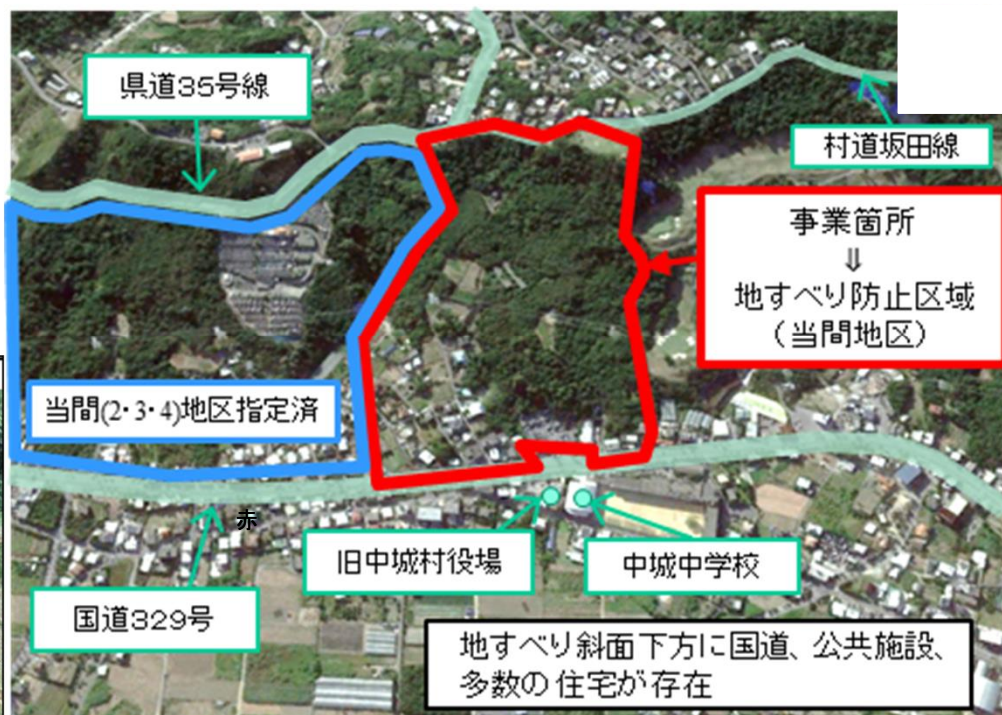
○箇所概要

保 全 対 象 : 人家80戸、国道329号、県道35号線、村道、中城中学校及び旧中城村役場

主な実施内容: 抑制工、抑止工、磁気探査、現場技術業務

R8要望額: 45.5百万円(国費: 36.4百万円) R8実施内容: 抑制工(工事)、磁気探査、現場技術

全体事業費 : 1,473百万円(H26~R10) R6年度末進捗率(事業費ベース): 66%



おこく
小谷地区 砂防メンテナンス補助事業(地すべり緊急改築)
なんじょう
(沖縄県 南城市)

○事業目的

当地区は、南城市小谷の北側に位置する東向きの斜面で、斜面下方には社会福祉施設(特別養護老人ホーム)が存在しており、同斜面は、平成17年6月の豪雨で斜面崩壊が発生しており、同年に地すべり防止区域指定を行っている。

平成17年度から平成21年まで抑制工、抑止工を行っているが、今回、斜面の変状に伴い、排水施設の破損・変形、法枠内土砂の吸い出し等が確認された。また、斜面の変状が近年によるものと推察され、存置すれば重大な災害につながる恐れがあることから、早期に地すべり防止施設の緊急改築事業を実施する必要がある。



○保全対象

人家53戸、要配慮者利用施設1箇所

○実施内容

整備内容:抑止杭工、水路工等

R8年度予算額:153百万円

(国費:91.8百万円)

R8年度実施内容:法面工、杭頭連結等

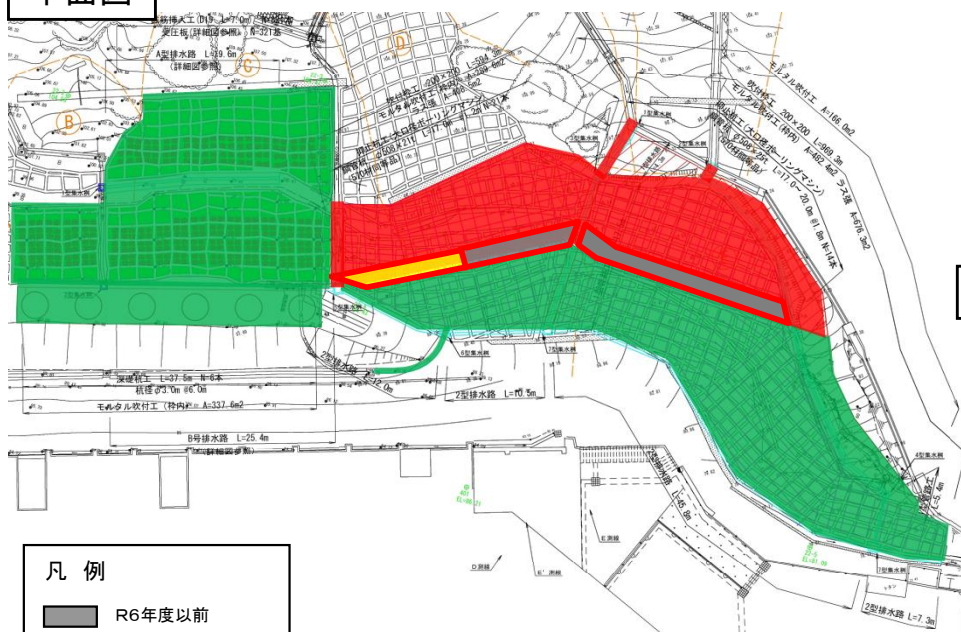
全体事業費:925百万円

事業期間:R2年度～R13年度

R6年度末進捗率:30%



平面図



凡例

- R6年度以前
- R7年度実施
- R8年度要求
- R9年度以降



法枠内土砂の吸出し



排水施設破損・変形

たくし うらそえし
沢岬(3)地区 急傾斜地崩壊対策事業 (沖縄県 浦添市)

○事業目的

当該地区は、浦添市沢岬地内に位置する南向き斜面で、がけ高約13m、勾配約47度の急傾斜地である。令和2年5月の大雨により一部斜面において落石が発生し、斜面下の住宅等に被害は生じていないものの、斜面の風化・浸食が顕著になってきているものと考えられる。

現在も台風等による強風・豪雨による地盤の緩み、一部倒木、落石等の変状が進行する恐れがあることから、急傾斜地崩壊対策事業を実施するものである。



○保全対象

人家15戸

○実施内容

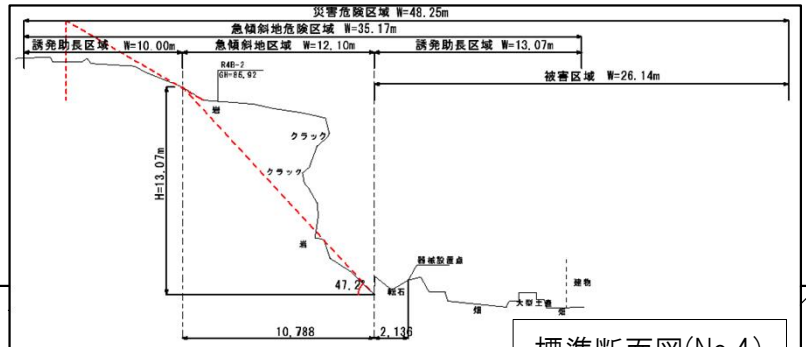
総事業費:184百万円

R8年度要望額:175百万円(受益者負担金含む)

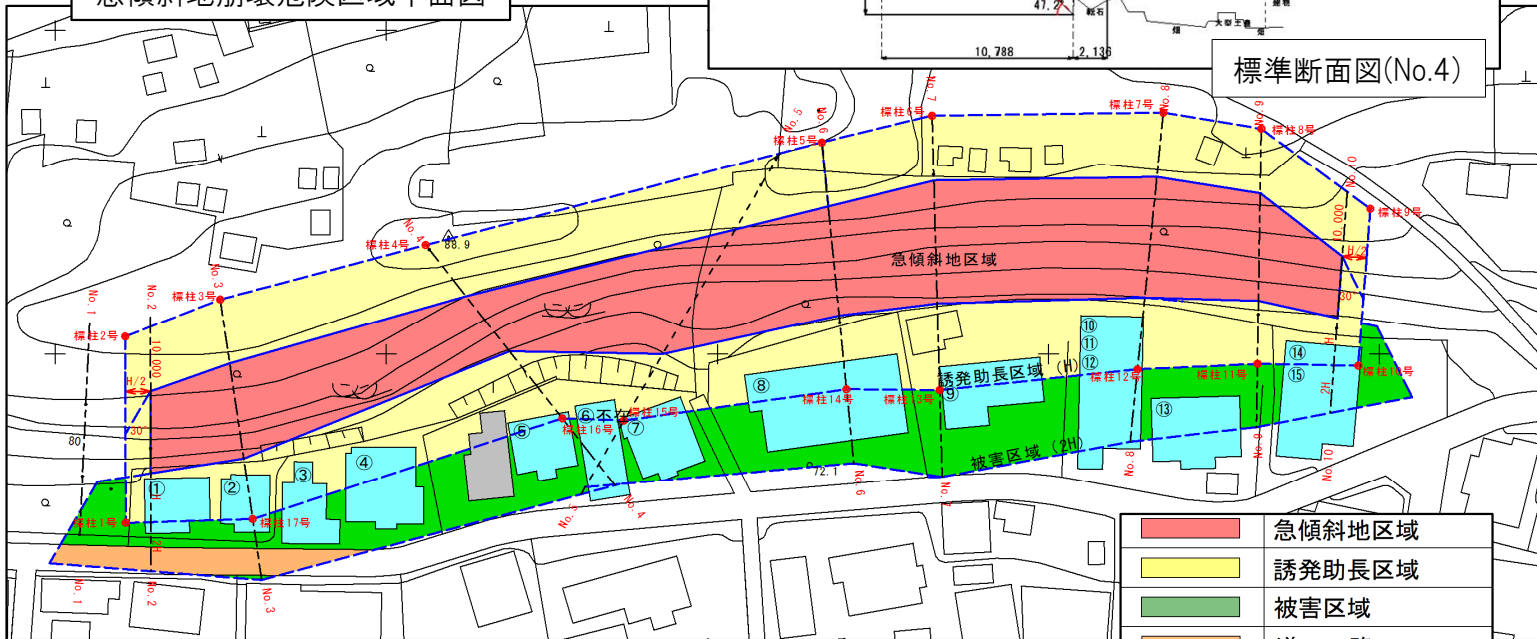
R8年度国費 : 70百万円

R8年度実施内容:落石防護工、磁気探査等

事業期間:R7年度~R9年度



急傾斜地崩壊危険区域平面図



	急傾斜地区域
	誘発助長区域
	被害区域
	道 路
	保全対象家屋(15戸)

落石発生状況(R2.5)



転石状況



オーバーハング状況

